



ヨーロッパとアジアの間に位置するイスタンブールは、古と新、東と西が調和する魅力的な街です。トルコの文化と歴史の中心地であり、過去と現在が共存する活気に満ちた都市です。

イスタンブールの象徴的なランドマークには、ビザンチン建築の傑作であるアヤソフィアと、ブルーのタイルが美しいブルーモスクがあります。これらのモニュメントは、イスタンブールの豊かな歴史を感じさせてくれます。

グランドバザールでは、カーペットやアンティークジュエリー、香り豊かなスパイスなどが揃い、賑やかな市場の雰囲気を楽しめます。また、ボスポラス海峡を船で巡ると、歴史的な宮殿やモスク、現代的な高層ビルが点在する美しいスカイラインを一望できます。

イスタンブールの料理も魅力の一つです。シミットや鯖サンドなどの伝統的なトルコ料理を楽しむことやトルココーヒーを飲むことができます。また、イスタンブールには多くの野良猫が住んでおり、地元の人々から愛されています。これらの猫たちは、街の独特な文化を象徴しています。

イスタンブールは、ナイトライフや文化イベントが豊富で、



常に新しい発見が待っています。歴史と現代が交差するこの街を訪れることで、ユニークで忘れられない体験ができると思います！

(シーザー・ムハَمَّد・ハムザ 関東学院大学)



学生会館からのお知らせ

◆潮田交流プラザ秋まつり

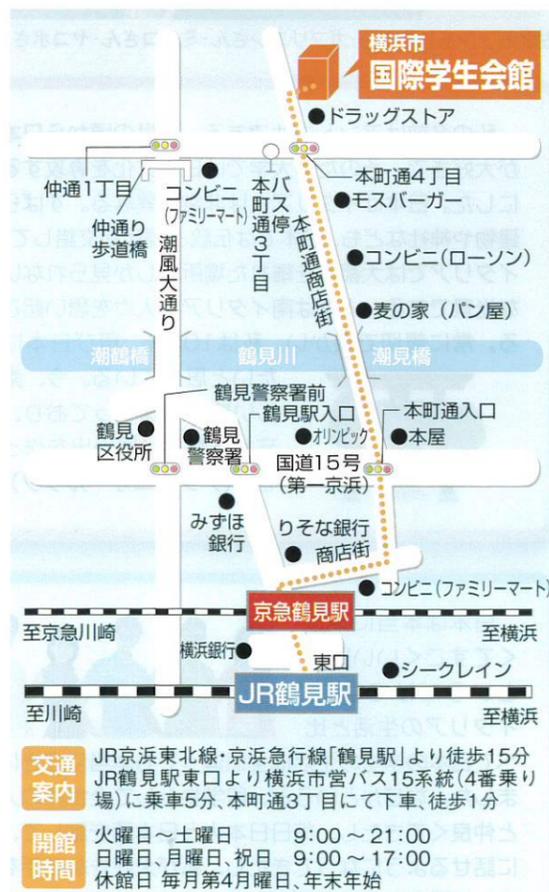
- 日程: 9月22日(日) 10:45~15:00 ※10:30開会式
- 内容: ①インターナショナル・カフェ
(留学生たちの国の飲み物とお菓子) 国際学生会館3階ホール
②国際屋台村(2~3ヶ国の料理) 国際学生会館前
③留学生や有志による歌や踊りのステージ 地下1階体育館など

◆留学生との交流会

- 日程: ①日本語での交流会 10月19日(土) 13:30~15:00
②英語での交流会 10月26日(土) 13:30~15:00
- 会場: 国際学生会館3階ホール
- 参加費: 500円(中高生300円 茶菓つき)
- 申込方法: 9月下旬にホームページで案内予定

◆留学生による文化講座

- ~日本人があまりよく知らない国ベラルーシ~
- 日程: 11月16日(土) 13:30~15:00
- 会場: 国際学生会館3階ホール
- 参加費: 500円(中高生300円 茶菓つき)
- 定員: 25名(先着)
- 申込方法: 10月にホームページで案内予定



発行: 横浜市国際学生会館 (YISH)
〒230-0048 横浜市鶴見区本町通4-171-23
Tel.045-507-0121 Fax.045-507-2441
Email: yish@yoke.or.jp
ホームページ: <https://yish-yoke.com>
印刷/デザイン: ツルミ印刷株式会社

よこはま地球村

横浜市国際学生会館ニュース

学生会館のマスコット
ラブアースベア



秋
autumn

2024
No.121

横浜市国際学生会館は、留学生等への宿泊施設の提供と市民の国際理解を目的として横浜市が開設し、公益財団法人 横浜市国際交流協会が指定管理者として管理・運営しています。



横浜市国際学生会館2024年度主催事業

6月29日(土)開催

留学生による文化講座

~カンボジアってどんな国?~

カンボジアという国は誰でも名前だけは知っていますが、どんな国が詳しくはわからないという方が多いのではないのでしょうか? イメージするのはアンコールワットとカボチャぐらいという方も多そうです。

今回の文化講座では、最初に講師自らカンボジアの伝統舞踊を披露し、続いてカンボジアのお茶とお菓子を味わっていただいたので、カンボジアムードたっぷりの中ではじまりました。

代表的な観光地等の紹介だけでなく、カンボジア料理の紹介があったり、クメール語で自分の名前を書いてみたりと盛りだくさんの内容でした。今まではあまりカンボジアのことを知る機会がありませんでしたが、これでカンボジアという国が今までよりずっと身近に感じられるようになりました。

参加者の声

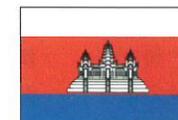
■カンボジアについてほとんど知らずに今日参加しましたが、舞踊や建築、文字、文化、内容もふんだんで、とても楽しかったです。

(40代参加者)



打ち解けた雰囲気でもクメール語に挑戦

■日本語で母国の文化を紹介していただきありがとうございます。衣装や動画で雰囲気を知ることができました。(40代参加者)



来場の方々は熱心に耳を傾けていました

今回の講師

ハン スレイネットさん



私の母国、カンボジアのことを紹介する機会をくださいまして、誠にありがとうございました。拙い日本語で大変恐縮でしたが、このような機会に恵まれることができ、大変感謝しております。また、母国の文化や食事などについて日本人の参加者の方々と直接会話をすることができたことは、素敵な思い出になりました。それに加えて日本語を練習することのできる、大変良い機会となりました。

(講師プロフィール)

王立ブノンペン大学卒、横浜国立大学院
修士課程2年生
趣味はカンボジアの伝統舞踊アプサラ

なるほど!あもしろい! 世界のことわざ

~メキシコ~

日常の注意深さと適時行動の重要性を強調するために使われることわざです。

誰かが現状に満足して油断すると、せっかくのチャンスをみすみす逃したり、自分ではどうしようもない状況に陥ってしまうということのたとえです。

「眠ったエビは流れに流される」 Camarón que se duerme, se lo lleva la corriente

好機を逃さず、また、周りから自分が取り残されないようにするには、日頃から積極性と注意深さを意識して行動することを忘れてはならないということです。

ブラボ カーレーオン アクセル
(横浜市立大学)



6月9日(日) 潮田神社のお祭りに 参加しました



本町四丁目のみなさんと

今年も、恒例の潮田神社例大祭が6月7日～9日の日程で開催されました。約40名の留学生たちが6月9日(日)の本町通りのお神輿パレードに参加しました。



お祭り最後の儀式・直会(なおらい)にも参加させてもらいました

グエンバンタイ (ベトナム/岩谷園テクノビジネス横浜保育専門学校)

お神輿をかついでいる時は、人々のにぎやかな雰囲気完全に溶け込んでいて、肩にかけたタオルが外れても気にすることもなくなり、次の日には肩が痛くなりました。今回のお祭りではお神輿をかつぐ人数や年齢などの規制がなかったので、誰でも参加することができました。お祭りの最後には、みんながとても楽しい気持ちで、幸せな気分になりました。この国の美しい伝統文化であるこのお祭りが末永く受け継がれることを願っています。



タイさん(左)とズオンさん(右)

チャンバンズオン (ベトナム/大原簿記情報ビジネス専門学校横浜校)

昨年は学生会館に来たばかりで、恥ずかしがって見に行くだけでしたが、今年は友達と一緒に参加してとても楽しかったです。初めて伝統的な法被を着て、地元の人々と一緒にお神輿をかついで、街を回りました。地域の歴史や伝統行事を体験して、日本の伝統文化をより深く感じました。それにお祭りではおいしい食べ物や面白いゲームがたくさんありました。また機会があれば、ぜひ参加します。

RA&YRA 代表活動報告

横浜市国際学生会館には、30カ国以上から来た100人を超える留学生が住んでいます。さらに、7人の日本人学生が留学生の生活をサポートするレジデントアシスタント(RA)として住んでいます。学生会館では、留学生たちが共に活動するための組織として、横浜市国際学生会館留学生会(YRA)が立ち上げられており、そしてYRA代表とRAは学生会館の事業運営に協力しています。また、YRAは留学生間の親睦を深めるために、定期的に独自のイベントを企画・実施しています。ここでは、5月に行われたイベントを紹介します。

たこ焼きパーティ

ゴールデンウィークにCookingイベントを開催しました。留学生と一緒にたこ焼き作りに挑戦しました。初めてたこ焼き作りに挑戦する留学生も多くいましたが、経験のあるRAの作り方を参考にして沢山作るうちに、留学生もどんどん上手になり、きれいな丸いたこ焼きができました。ねぎ、チーズ、キムチなどのトッピングを加えて好みのたこ焼きを焼き、みんなで美味しく食べました。たこ焼きの後はみんなで卓球を楽しむなど、より一層仲が深まるイベントとなりました。



はじめてのたこ焼き作り

鎌倉観光

5月の終わり頃に鎌倉を訪れました。半日かけて、長谷寺、高德院、小町通り、鶴岡八幡宮をゆくりと巡りながら、鎌倉の自然と歴史に触れました。長谷寺では、咲き始めの紫陽花を楽しむことができました。お昼ご飯は、小町通りでしらす丼にトライ。しらす丼が初めての人も大満足の様子でした。YRAでは、これからも定期的に日本の観光地巡りを企画していきます。



古都鎌倉の楽しい思い出

留学生に聞いてみました

なんでYOUは日本へ?

イタリアのベネチア大学で日本語を学んでいる学生たちが、横浜市立大学との交換留学生として日本へやってきました。なぜ日本に興味を持ったのか?日本滞在の感想は?…と彼ら4人に聞いてみました。



左からアントニオさん・ガブリエレさん・ミルコさん・ヤコボさん

私の名前はアントニオである。子供の頃から日本文化が大好きで、そのため大学では日本文化を専攻することにした。日本はイタリアとは非常に異なる。すばらしい建物や神社なども、日本では伝統と現代が交錯している。イタリアでは大都市を離れた場所で見られないような光景である。人々は南イタリアの人々を思い起こさせる。常に親切で温かい。私は100%、再び日本に戻りたいと思っている。今、素晴らしい感情を味わっており、一生忘れられない思い出を作っている。(アントニオ・ルッソ)



日本は本当に楽しくてすごくいい国だというだけでなく、イタリアの生活と比べて日本の学生の生活は全然違って本当に好きになりました。なぜかという、留学生として全世界の人たちと仲良くできたし、毎日日本人と日本語を話して、上手に話せるようになってきたし、私が大好きな空手をここでも練習できるので感謝しています。イタリアや全世界の留学したい学生はぜひ、日本へ来てみてください。最高の経験ができると思います。(ギロット・ミルコ)



日本は素晴らしい場所だと思う。なぜかという、4月に来てからいっぱい友達ができ、毎日友達と神奈川や東京の観光地や居酒屋やカラオケで楽しんでいるから。その上、日本料理も美味くて、新しい食べ物を味わえるのも楽しみ。カレーとトンカツが特に大好き。色々な場所も回ったから各都市の特別な雰囲気も味わって、京都の伝統的なお寺も本当に印象的だった。(ムスメチ・ガブリエレ・カルメロ・ジョスエ)



日本で留学することは昔から憧れた夢だったので、ようやく本当になった日は忘れられません。日本はとても人が温かい国で色々な経験や友達を作ることが出来ました。この寮には家族がいるように感じたので、実家は遠かったですが、この5か月の滞在で一人ぼっちを感じたことがありません。ごみの分別のような毎日の生活の簡単そうな問題でも受付の方はいつも手伝ってください。この寮で他の所ではできない経験をして友達もたくさんできました。これほど忘れがたい特別な思い出を与えてくれたことは何よりも嬉しいことです。(ジツツアレリ・ヤコボ)